

農作業コツのコツ

【第2号】

令和6年4月13日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

春の農作業安全運動実施中。安全フレームとシートベルトはセットで使用しましょう。

ほ場周辺の危険箇所を確認し、改善を行いましよう（草刈りや路肩の補強など）。

今後の気温は、平年より高い傾向が続くと見込まれます。高温や多湿に注意し、こまめな育苗管理に努めましょう。

水稻・育苗 ～基本技術を徹底し健苗育成を！～

1 催芽

・催芽は**30℃**で**18～24時間**を基本としますが、浸種条件によりばらつきがあります。伸びすぎないよう、必ず芽の長さを確認しましょう。

[循環式催芽器の場合]

・同時にタフブロックによる種子消毒を行う場合は浸漬時間を24時間としましょう。

[蒸気式育苗器の場合]

・催芽を均一にするため、種籾は袋に詰めすぎないようにし、均一に広げ、7～8時間に1回の割合で籾袋を反転させましょう。

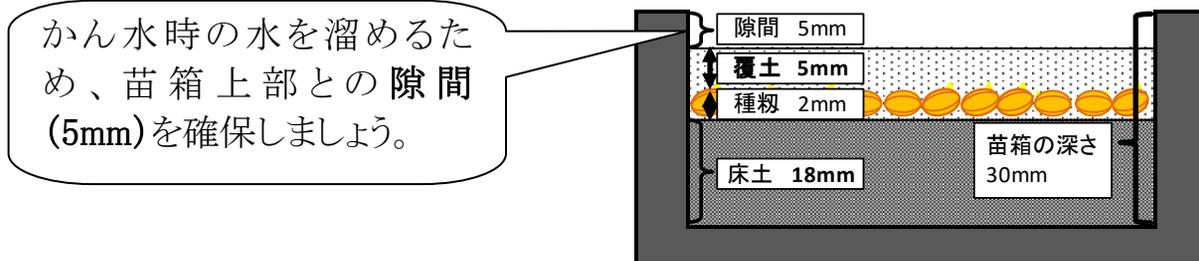


写真 催芽完了の目安

2 播種・出芽

・育苗箱への床土や覆土の充填は下図を目安としましょう。

【慣行苗の例】



・播種量は箱当り**乾籾120g**（催芽籾で150g）とし、厚まきやムラまきにならないようにしましょう。

・育苗器内の加温処理は**30℃**で**60時間程度**を目安とし、芽の長さが10mm程度になるまで行いましょう。

3 搬出後の管理

表 搬出後の温度と水管理の目安

		緑化期	硬化期
ハウス内の温度管理	昼間	28℃以下	25℃以下
	夜間	10℃以上	
水管理		かん水過多に注意 水不足による葉ヤケに注意	原則、朝1回 (但し、日中床土が乾いた場合は適宜十分かん水)

換気の徹底を！
曇りの日でも日差しがある場合は温度が上がりやすいので要注意。

(1) 搬出直後（緑化期）の管理

- ・搬出後の**かん水**は、寒冷紗をかける前に**覆土を落ち着かせる程度**とし、葉ヤケを防ぎましょう。ただし、低温時はかん水を控えましょう。
- ・緑化中でも高温になる場合は、苗に風が直接当たらないよう風下側を開けて**換気**を行いましょ。
- ・第2葉の先端が寒冷紗の上に出てきたら寒冷紗を取り除きましょう。

寒冷紗の除去が遅れると徒長苗になります。

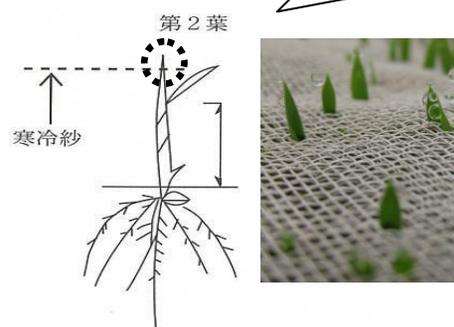


表 寒冷紗の被覆期間の目安【慣行苗】

図 寒冷紗を取る目安

品種	寒冷紗の被覆期間	留意点
早生	3～5日間	伸びづらい品種(早生、てんこもり)は、搬出直後から3日程度は2重掛けとし、夜温を高く保つためハウスを閉める時間は午後3時など温かい時間としましょう。
中生	2～3日間	
晩生	3～4日間	

- ・搬出後に低温状態(5℃前後)が続く場合は、ムレ苗の予防と発根促進を兼ねてナエファインフロアブルを散布しましょう(営農とくらし 45 ページ参照)。
- ※カビが見られた場合は、営農指導員、普及指導員にご相談ください。

(2) 育苗後半（硬化期）の管理

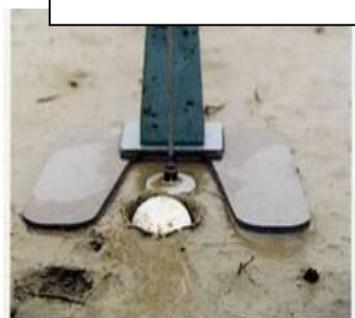
- ・かん水は原則早朝 1 回とし、フェーン現象等で乾きが激しい場合は必要に応じてかん水しましょう。
- ・**田植えの7日前からは昼夜ともに換気**し、十分外気に慣らしましょう。ただし、強風が予想される場合は早めにビニールを閉じましょう。

水稻・直播

1 湛水直播の播種床の準備

- ・代かき時の水は少なめとし、練りすぎないようにしましょう(特にほ場の枕地)。
- ・代かきから播種までの日数は黒ボク土で2～3日、粘質土で4～5日としましょう。
- ・播種時に田面が軟らかすぎる場合は、落水状態をしばらく継続し、田面が硬すぎる場合は入水し、適正な土壤硬度の確保に努めましょう。

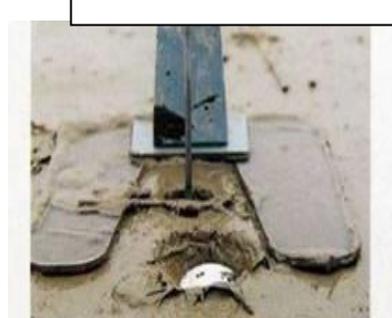
鉄コーティング(表面播種)



種子が田面に張り付き、施肥溝が埋まらない程度の硬さとする

田面 0cm 以上

カルパー(土中散布)



土中5～10mmに播種する

田面 0～-1cm

写真 播種時の土壤硬度の目安 (高さ1mからゴルフボールを落とした場合)

春の農作業安全運動実施中

学ぼう！正しい安全知識～機械作業の安全対策と熱中症の予防策～